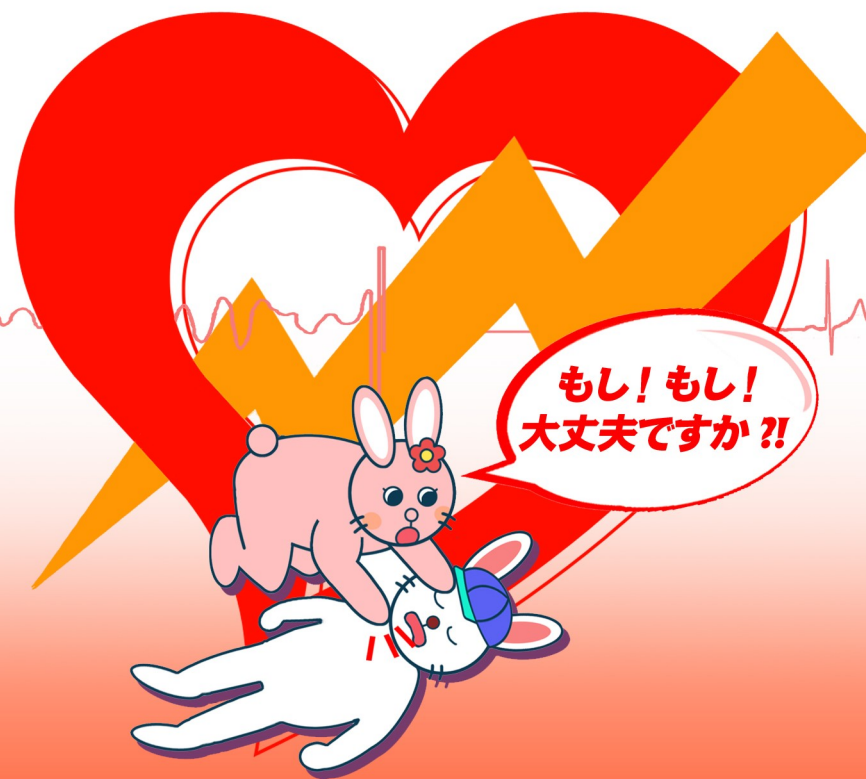


ガイドライン 2015 準拠》

# 救命講習テキスト

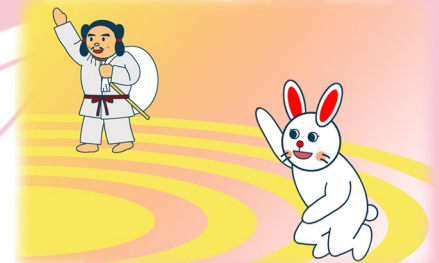
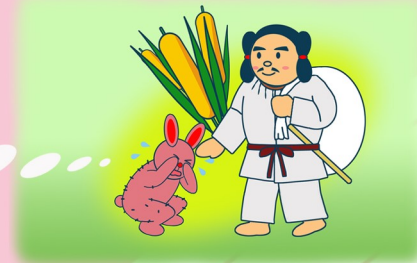
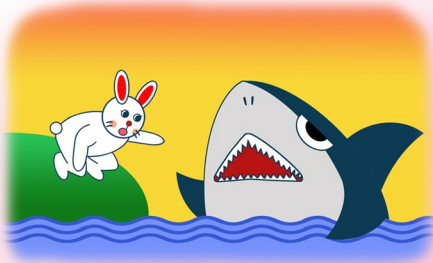


## 鳥取県東部消防局

鳥取県東部広域行政管理組合消防局

# 神話「因幡の白ウサギ」と日本初のファーストエイド (応急手当)

古事記に記される「因幡の白ウサギ」の神話は、因幡の国（現在の鳥取県東部）を舞台としています。大国主命は毛皮をはがされた白ウサギの話を知り、適切な処置を行ったところ白ウサギの体は元通りになりました。この大国主命が白ウサギに施した治療は日本初のファーストエイドという説もあります。



白ウサギは<sup>おきのしま</sup>淤岐ノ島から因幡の国に渡るうと思ひ、海にいたワニ(※)をだましました。

「ワニさん、君たちの仲間と僕たちの仲間、どちらが多いか比べてみよう」

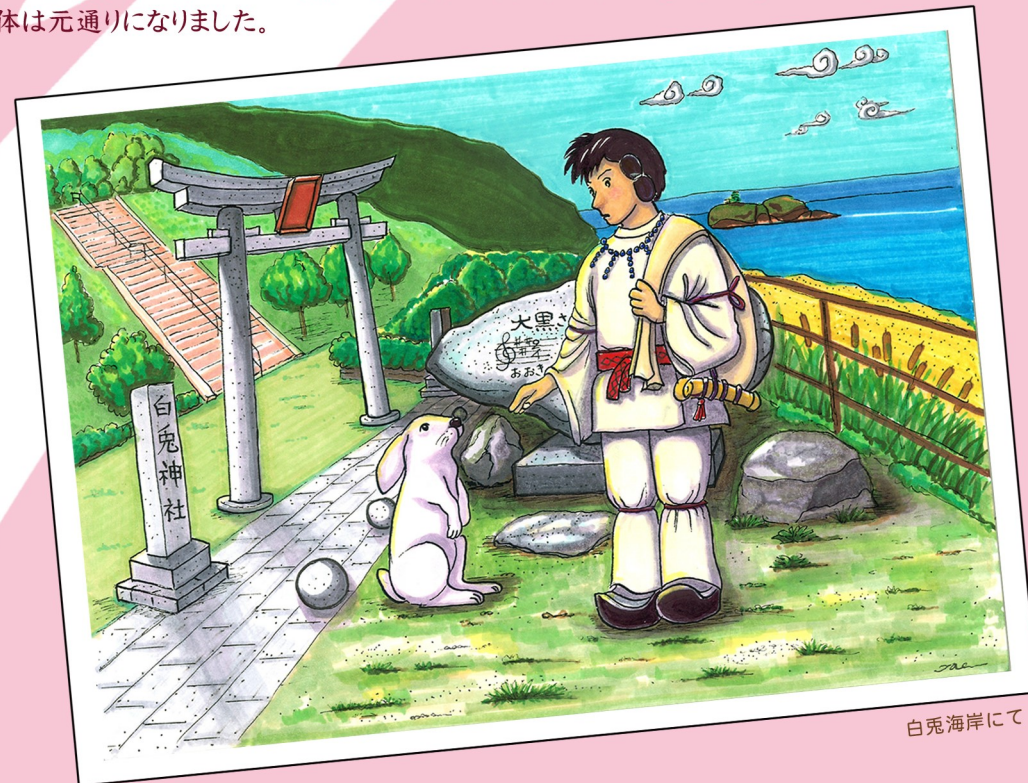
※山陰地方ではサメのことをワニ（和爾）と呼んでいました。

ワニを因幡の国まで並べさせ、その背を踏んで渡っていきました。1、2、3・・・地上に降りようとした白ウサギは、だまされたことを告げてしまい、ワニに捕まり、毛をはぎ取られてしまいました。

皮をはがされ泣いている白ウサギに、通りかかった大勢の神々が「海水を浴びて、高い山に登って風で乾かせ」と教えました。言われる通りにしたら、さらに痛みが激しくなりました。

そこに、遅れてきた大国主命が正しい手当を教えました。

「今すぐ真水で体を洗って、蒲の穂を敷いて寝ころびなさい」その通りにしたらウサギの体は元通りになりました。



白兔海岸にて